

令和6年度 勝連こども園自己評価

A:思う B:少し思う C:思わない D:改善を要する

項目	内 容	評 価			
		A %	B %	C %	D %
教育・保育目標について	(1) 当園の基本理念及び教育保育目標、基本方針を理解している。	75	25	0	0
	(2) 当園の教育保育目標を意識して日々の活動に取り組んでいる。	68	32	0	0
	(3) 重点目標は、園の教育保育目標や幼児の実態に基づいて設定している。	68	32	0	0
	(4) 重点目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	43	50	7	0
人権尊重	(1) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	75	25	0	0
	(2) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか。	75	25	0	0
指導計画	(1) 年齢別・クラス目標は、幼児の姿から、具体的なねらいと内容が設定されているか。	75	18	7	0
	(2) 具体的なねらいや内容に基づいた環境を構成できたか。	44	31	25	0
	(3) 活動を通して幼児が発達に必要な経験を得ていくような適切な援助をすることができたか。	44	44	22	0
	(4) 反省、見直しを適切に行い、指導計画の改善を図ることができたか。	37	56	7	0
教育・保育の内容について	(1) 園の自然環境を取り入れた保育実践をしている。	68	25	7	0
	(2) 環境構成の工夫・遊びの充実に取り組んでいる。	56	37	7	0
	(3) 絵本の貸し出しや読み聞かせを積極的に行っている。	81	19	0	0
	(4) 聞く、話す力を育てる場を設け、実践している。また、言葉による伝え合いのできる活動を工夫している。	87	13	0	0
	(5) 体力を向上させる遊びや活動、環境を構成している。	75	25	0	0
	(6) 子ども一人一人の健康状況や発育・発達の状況を把握し、職員間にて共有されているか。	62	31	7	0
	(7) 気になる子や支援が必要な子への教育・保育が配慮されているか。	62	31	7	0
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	25	62	19	0
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	62	38	0	0
	(3) 計画・実施・評価・改善(PDCA)の体制をとっているか。	62	38	0	0
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	62	31	7	0
経営・組織	分掌・体制				
	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	56	37	7	0
	(2) 職員の配置は適材・適所か。	37	56	7	0

経営・組織		(3)係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	26	62	12	0
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	50	43	7	0
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	62	38	0	0
	研修・自己研鑽	(1)園内研修の充実を図っているか。	93	7	0	0
		(2)各種研修会、講習会への参加を積極的に行っているか。	81	19	0	0
		(3)研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、教育保育に活かされているか。	44	56	0	0
	保健・安全指導	(1)保健計画を理解し、幼児の健康な生活や習慣の育成に取り組んでいる。	56	37	7	0
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	81	19	0	0
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	56	44	0	0
		(4)不審者の侵入などにおける緊急避難・誘導などについて取り組んでいる。	44	44	2	0
	食育	(1)食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つよう工夫している。	56	44	0	0
		(2)食物アレルギーは、個別に配慮し食事を提供している。	81	19	0	0
		(3)調理員を交えて会議などで意見を出し合い良い食事が提供できるよう努めている。	62	19	19	0
	情報の取り扱い	(1)保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られている。	88	12	0	0
		(2)保護者や地域の人からの相談事項についてプライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている。	93	7	0	0
		(3)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	88	12	0	0
	施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	81	19	0	0
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	62	38	0	0
		(3)園舎周辺は安全と美化について配慮されているか。	93	7	0	0
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	86	7	7	0
		(5)園舎内外、保育室の整理整頓に努め、子どもたちが心地よく過ごすことができる保育環境を心掛けているか。	62	38	0	0
開かれた子ども園づくり	施設間交流 保幼小連携	(1)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	55	19	19	7
		(2)授業参観や児童生徒とふれ合うなどして、小学校の教育を理解しているか。	50	19	19	12
		(3)日常的にお互いの情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	43	38	12	7
	家庭・地域社会との連携	(1)保護者に対して言葉使いや態度など良い対応を心がけている。	75	25	0	0
		(2)送迎時に子どもの姿を保護者に伝えるようにし、連携を取るようにしている。	68	25	7	0

開かれた子ども園づくり	家庭・地域社会との連携	(3) 子どもの発達や教育保育などについて、個人面談や保護者から相談があったときなど、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	81	12	7	0
		(4) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	43	50	7	0
		(5) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	38	43	7	12
		(6) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	56	38	0	7
		(7) 中高生などの職場体験、実習生、ボランティアの受け入れを行っている。	88	12	0	0
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て事業として、園庭や保育室等を開放しているか。	88	12	0	0
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	7	43	38	12
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	31	50	12	7
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	56	37	7	0
	情報の発信	(1) お便り、コドモン、ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	75	25	0	0
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	31	67	12	0
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	75	25	0	0
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	63	37	0	0

取り組み状況・課題

○教育・保育目標について

- ・ 基本理念や目標など年度初めの園内研修を通して全職員が把握している。
- ・ 教育保育目標を意識し、活動へと取り入れることで子ども達とどのようにしたらよいか話し合い、保育を展開していった。
- ・ 朝の活動を通して体を動かし、元気よく過ごせる活動を取り入れている。
- ・ 重点目標は全職員での検討や共通理解をもっと深く共通理解を図りたい。

○人権尊重

- ・ 子ども一人ひとりの思いを受け止め丁寧に関わっている。また、園内研修においても人権について学ぶ機会があった。
- ・ 子どもの人権を意識したり、子ども一人ひとりを理解しようと努めている。
- ・ 異文化の子ども達も増えている中、様々な視点から子どもの人権について考えることができた。
- ・ 職員間で話し合いを行い、気持ちに寄り添いながら教育保育を行っている。

○指導計画について

- ・ 子どもの姿から具体的に指導計画やクラス目標を設定している。
- ・ 子ども達の実態を把握しながら構成するようにしたが、もう少し工夫が必要だった。
- ・ クラスリーダーでどのように保育を進めたらよいか、反省など話し合う機会を設けたことで互いの保育の質を高めることが出来た。
- ・ 子どもの導線や発達に合わせて環境を上手く整えることができなかった。
- ・ 指導案の計画や反省、見直しをしっかりとできるようにしていく。

○教育・保育の内容について

- ・配慮が必要な子や支援を要する子には、その子に寄り添いながら参加を促したり、見学するなど参加の仕方を模索しながら取り入れていった。
- ・遊びの充実を図る為、環境構成の工夫を行っている。
- ・遊びの中や活動を通して言葉での伝え合いや話し合い活動を取り入れていった。
- ・園庭で草花を育てたり、菜園活動を通して季節を感じ自然に目を向ける環境がある。遊びを通して自然に触れ、興味発見を楽しむことができる。

○行事について

- ・行事の種類や回数を見直しを行ったが、まだ多く感じる。クラスで展開できるものは、更に見直しを行い内容についても反省を踏まえて計画していく。
- ・行事を終えて振り返ることで必要な行事か内容の変更が必要かどうか等、検討し次年度にいかせるようにしている。
- ・行事後は園内研修を通して反省や振り返りを行うことで次年度に向けて課題を明確化することができ前もって準備を行うことが出来た。
- ・2学期の行事が多く、慌ただしくなっていた。職員と話し合い改善していきたい。

○分掌・体制について

- ・仕事内容や責任に偏りを感じたため、配置人数の見直しや職務内容を分割していきたい。
- ・作業時間や休憩時間の調整を職員間で声掛けできるようになってきているので、次年度も引き続き連携していきたい。
- ・協力しながら担当の業務に取り組むことができた。

○運営について

- ・朝のミーティングを取り入れることで職員一人ひとりが園の状況や職員体制などの把握ができ、連携が取りやすくなった。
- ・朝のミーティングや職員会議を通して情報共有やクラスリーダーによる会議を通して日々の教育・保育の向上を目指した取り組みになっている。
- ・クラスでの困っていることを会議などで共有し、相談することで質を高め合うことに繋がっている。

○研修・自己研鑽について

- ・救命講習や保育室の環境構成について外部講師を招いて園内研修を進めることが出来た。また、非常食の試食会やマニュアルの読み合わせなど充実した内容であった。
- ・県外研修に参加し、他園の職員との交流や話を聞くことで学びにつながった。
- ・園内研修では、様々な内容を学ぶことが出来、保育の質の向上につながっていると思う。また、研修への参加しやすい環境が整っており積極的に受講できている。

○保健・安全指導について

- ・保健や安全指導について集会や訓練など計画に基づいて進めることができた。その他にも危険な場面やケガや事故につながる内容においても子ども達や職員間で周知し改善に努めた。また、保護者へもお便りを通して内容を伝えていった。
- ・不審者訓練が年に1回となっているので訓練の回数を増やし、自分で自分の身を守る意識や学ぶ機会を計画していきたい。

○食育について

- ・こども園で収穫した野菜を子ども達が調理員とやり取りしたり、その日の給食の食材にするなど食に興味や関心が持てるような機会を持つことが出来た。
- ・食育集会や野菜の栽培活動、クッキングを通して食への興味関心を育むことができた。
- ・調理員を交えて毎月、給食会議を行っているが会議の日程を決めるのが遅くなり思うように進めることが出来なかった。
- ・アレルギー児の対応において調理員と連携し、除去食の確認や食器やトレイの色を変え誤植防止に取り組んだ。

○守秘義務の厳守・情報の取り扱いについて

- ・秘密保持について年度初めに職員で共通理解を行い、情報の取り扱いにも十分気をつけている。
- ・個人情報などの書類に関して、使用後はシュレッダーにかけるなど漏洩しないよう情報管理に十分気を付けている。

○施設・設備について

- ・常に安全面に配慮し、気付いた事は職員で共通理解を図っている。
- ・毎月の安全点検では、室内外の危険箇所や修繕が必要な場所など用務員と連携し改善に努めている。
- ・掲示板へお便りや活動の写真などを掲示し、保護者への情報発信も行っている。

○施設間交流・保幼小連携について

- ・姉妹園の5歳児や近隣園、小学校との交流を通して関わりを深めることが出来た。しかし、3、4歳児の交流が上手く計画出来なかったので次年度は、交流を増やしたい。
- ・こども園職員による小学校での読み聞かせや小学生と5歳児の交流を多く持つことが出来た。
- ・3、4歳児と小学生の交流の場がないため、園全体で小学校と関われる機会を計画したい。

○家庭・地域社会との連携について

- ・祖父母お招き会にて保護者の方にマグロ解体ショーをしてもらうことで子ども達も親しみをもち楽しく参加できた。地域の人材活用をもっと取り入れていきたい。
- ・JAまつりへの参加やムーチャー作りを通して地域との交流を行っている。
- ・中学生や小学生の職場体験やボランティアの受け入れを行い、地域との交流も積極的に行っている。

○子育て支援の推進について

- ・ 園庭開放や誕生会、行事への参加を計画し園児と一緒に交流できるようにしている。
- ・ 地域の子育て支援周知を目標に近隣へのポスター掲示やホームページ掲載などを行い、制作活動や給食体験、相談窓口の設置なども取り組んでいる。

○情報の発信について

- ・ お便りや保護者アプリコドモンを活用し、園での様子や子どもの育ちを情報発信している。
- ・ コドモンを活用し、情報の発信がしやすくなったが操作に時間がかかるため、スムーズに行えるようにしたい。

○外部評価について

- ・ 施設評価にて地域の方や保護者アンケートを通して施設運営に意見をいただき、改善に繋げている。
- ・ 第三者評価や監査、保護者から意見があった際は職員間で内容を周知し、改善に努めている。

○自己評価の成果と今後の取り組み

- ・ 指導計画において、子どもの姿や発達に合わせた指導計画の作成が行えるよう、職員間での話し合いや書類作成の時間確保に今後も務めていく。
- ・ 毎月の園内研修や園外研修など参加しやすい体制や環境に配慮し、職員が積極的に参加することで保育の質の向上に繋がった。
- ・ 保護者アプリコドモンを通して、ドキュメンテーションや連絡事項など、子どもの育ちや保護者との情報共有、連携を深めることができた。
- ・ 行事の回数や内容について見直しや改善に努め、保育者の負担軽減や計画的に進められるようにする。
- ・ 保幼小連携においては、小学校との交流も深まり授業参観へ職員が足を運ぶことで小学校の取り組みを知ることができた。こども園へも小学校教諭が足を運んでもらえるよう提案し、次年度は更に交流を深めていきたい。
- ・ 子育て支援事業において地域への周知に努め、近隣施設へお便りを掲示するなど、園での取り組みを知ってもらうことができた。
今後も子育て支援事業の周知に向け、情報発信に努めたい。